

1. 授業時数特例校制度導入の考え

(1) 実施の目的

- ・教科等横断的視点に立った資質・能力の育成
- ・探究的な学習活動の充実に資する教育課程編成の一層の充実

(2) 解決を図る学校課題

- ・令和4～6年度全国学力・学習状況調査の記述式問題の正答率が改善傾向にあるものの、指導方法の工夫改善に加え、情報活用能力の伸長を果たす改善が必要である。
- ・課題解決の方策 「探究的な学習活動の充実」
 - ① 主体的な学びの促進
児童が自ら課題を設定し、情報を収集・分析することで、主体的に学ぶ力を育む。
 - ② 問題解決能力の向上
実社会や実生活の課題に取り組むことで、問題解決能力を向上させる。
 - ③ 創造性と多面的思考の育成
探究活動を通じて、創造的なアイデアを生み出し、多面的に考える力を養う。
 - ④ 協働の重要性の理解
他者の協力を得て個別の課題解決に生かす取組を通じて、協働の重要性を理解し、コミュニケーション能力を向上させる。
 - ⑤ 自己決定力の強化
自分で学びの方向性を決めることで、自己決定力が強化され、生涯にわたり学び続ける力を身につける。

(3) 保護者・地域住民への周知

①保護者への周知

- ・令和6年12月1日、岩見沢市教育委員会発行リーフレットと本校作成リーフレットとの両面印刷で本制度の利用目的と変更する時数について周知。
- ・令和7年4月6日、上記リーフレットをテトルで全家庭に配信して周知予定。

②地域住民への周知

- ・令和6年12月16日、第2回上幌向地区学校運営協議会で、リーフレットを配付、説明。
- ・令和6年12月26日発行の学校だよりに制度の趣旨と利用目的、時数について掲載し、町会全戸に回覧して周知。
- ・令和7年4月、上幌向地区学校運営協議会ホームページにリーフレットを掲載し、周知。

2. 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数（授業時数の増減）

学年		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の授業時数	国語	306	315	245	245	175	175
		306	315	240(-5)	240(-5)	170(-5)	170(-5)
	社会	-	-	70	90	100	105
				65(-5)	85(-5)	95(-5)	100(-5)
	算数	136	175	175	175	175	175
		136	175	175	175	175	175
	理科	-	-	90	105	105	105
				85(-5)	100(-5)	100(-5)	100(-5)
	生活	102	105	-	-	-	-
		102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
		68	70	55(-5)	55(-5)	45(-5)	45(-5)
図画工作	68	70	60	60	50	50	
	68	70	55(-5)	55(-5)	45(-5)	45(-5)	
家庭	-	-	-	-	60	55	
					60	55	
体育	102	105	105	105	90	90	
	102	105	105	105	90	90	
外国語	-	-	-	-	70	70	
					70	70	
特別な教科である道徳の授業時数	34	35	35	35	35	35	
	34	35	35	35	35	35	
外国語活動の授業時数	-	-	35	35	-	-	
			35	35			
総合的な学習の時間の授業時数	-	-	70	70	70	70	
			95(+25)	95(+25)	95(+25)	95(+25)	
特別活動の授業時数	34	35	35	35	35	35	
	34	35	35	35	35	35	
合計	850	910	980	1015	1015	1015	
学校行事	38	42.5	36	46.5	48.5	43.5	
児童会活動	3	3	6	20	24	24	
クラブ活動				6	6	6	

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [909時間] 余剰時数 [59時間]
 第2学年の余剰を含めた総授業時数 [967.5時間] 余剰時数 [57.5時間]
 第3学年の余剰を含めた総授業時数 [1026時間] 余剰時数 [46時間]
 第4学年の余剰を含めた総授業時数 [1064.5時間] 余剰時数 [49.5時間]
 第5学年の余剰を含めた総授業時数 [1057.5時間] 余剰時数 [42.5時間]
 第6学年の余剰を含めた総授業時数 [1046.5時間] 余剰時数 [31.5時間]